

議事概要

1 会議名	令和7年度第1回太宰府市歴史的風致維持向上協議会
2 開催日時	令和7年8月27日(水) 9:55～11:15
3 開催場所	太宰府市役所 4階 大会議室
4 出席者名	森委員、菊武委員、赤松委員、下原委員、八尋委員、徳重委員、島田委員、添田委員、伊藤委員
5 議題	<p>【議事】</p> <p>①令和7年度太宰府市歴史的風致維持向上計画</p>
6 内容	
事務局	<p>(開会)</p> <p>11名のうち、出席者9名で定数である過半数に達している。 本日は辻田委員と川上委員が所用のため欠席。 傍聴者が1名来場。</p> <p>【委嘱状交付】</p> <p>【挨拶】 都市整備部部長の挨拶</p> <p>【議事】</p> <p>事務局 今年度予定は15項目。最初に都市計画課所管分について説明。</p> <p>委員 高田家は完成したとき、見ることはできるのか。</p> <p>事務局 基本的に修理部分に関して公開の義務はあるが、個人宅なので自由に入っていくのは当然できない。しかし、高田さんはできるだけ協力したいと話をされている。完成後高田さんと協議し、お知らせできればと思う。</p>

委員	参道は、植栽を撤去した後は、歩道になるのか。
事務局	はい。
委員	参道のストリートプリントはマイナス 10 度ということだが、涼しさや体感温度は、現状よりも改善されるのか。
事務局	アスファルトと比較してマイナス 10℃なので、瓦敷の歩道では、マイナス 10℃まではいかないと思う。瓦敷のデータはないが、瓦敷は石畳と同様と思うので、歩道に関してはあまり変わらない気がする。車道での遮熱効果で、温度が下がることになる。
委員	障がい者用のブロックだが、車椅子とかベビーカーを押したときに、引っかかるので何か検討できないかと以前話をしたが、従来通りなのか。
事務局	ブロックではなくて貼り付けになる。ブロックの方が委員の言われた問題点は解決できるはずだったが、参道下には共同溝やコンクリート面があり、コンクリート面を削らないと敷設できず、政庁通りで行われているような舗装面に貼り付けていく工法しかできない。若干段差ができるのは、その後現場合わせて少しでも解消できるようにしたい。
委員	一般的な歩道に貼ってるものと一緒か。
事務局	一般的なものでもいろいろあるが、最近政庁通りで敷設しているものと同じものとなる。
委員	その点字ブロックを付けるということは決まっているのか。その他の障がいに対する配慮についてはどう考えているのか。
事務局	点字ブロックは基本的に歩道があるところには設置していく方向なので、ここは歩道があり車も通るので基本的に敷設をしなければいけないと思う。それで段差がつく場合、その擦り付け方法の協議を重ねて、できるだけ車椅子などに影響がない形で施工できればと考えている。どちらかに比重を置くともう一方はどうなんだという議論が出てくる。点字ブロックについても、黄色という見た目について意見もあったが、弱視の方などのためにあるので、太宰府市としては当然と考え今回進めている。
委員	この点字の線を引くために、端からどのぐらいの間隔のところ引くなどの法律があるのか。
事務局	法律ではなくガイドラインである。

委員	車椅子やベビーカーの幅があるので、点字のラインが歩道の真ん中ではなく、ちょっとずらしていただくだけで良い。少し工夫していただきたい。
事務局	参道の歩道には一部切り込み部分がある。原則歩道に車を停めることはできないので、荷物とか下ろす目的で切り込んだ場所を 2 ヶ所設置している。それを踏まえて直線に引こうとすると引けるラインは限られてくるらしい。法線はある程度決まってくるが、考慮して施工していきたい。
委員	市もユニバーサルツーリズムを挙げているので、車椅子の方が大駐車場から参道を上がっていただけるよう考慮して改修していただきたい。
事務局	考慮はしているが、なかなか難しい選択肢である。可能な限り検討する。
委員	歩道の切り込み部分を真っすぐにするのは難しいのか。
事務局	歩道に乗り上げて車を停車することは原則できない。車道では車両の横に 3.5m 以上確保しないと違反になってしまう。そのためにこの切り込みを設けている。もし、真っすぐにするとこの参道に車は停車ができないことになる。店舗がある以上、それは厳しいため、現状の切り込みは踏襲せざるを得ない。
委員	今の石畳と歩道の段差をどれぐらいになるのか。
事務局	1 cm ちょっと。基本的に今の縁石は動かさない形で工事をしていく。
委員	よく車を突っ込む事故があるが、車止めみたいなものはあるのか。
事務局	歩道と車道との間には、街灯とトランスがあり、今だと街路樹があるため、たまたま視覚的に車が突っ込まない環境が揃っている。今回街路樹がなくなる分、高さ 1m ぐらいの鉄柱の車止めを点々と設置予定で、トランスにも車が当たらないように、その脇に鉄柱の車止めを置くようにする。これなら沿線の商店の荷物の出し入れにも影響がなく、運転者にも障害物が並んでいるという視覚的効果があると考えている。
委員	公民館も車止めを付けたが 1 ヶ月もしないうちに車がぶついたりしていた。
事務局	日中は観光客が多いので、車が暴走するということはないだろう。どちらかという歩行者が車道を歩くことが危険である。
委員	歩行者のマナーの問題で、ここの歴史的風致という問題とは違う。オーバーツーリズムや観光戦略の話で、別の部署と組んで取り込まないとできない気がする。

委員	日田街道事業だが、高架下のところが日田街道の雰囲気がなく暗い感じがしている。それで柵を景観に配慮したものに変わるといえるが、それ以外のことも含めてやらないと雰囲気は出ないのではないかと。
事務局	ここで計画している事業は、ガードレールが傷んで錆だらけになっているため、ダークブラウンのガードレールに変える。カーブミラーも通常のオレンジ色のものからダークブラウンにして景観に配慮する。それ以外の事業は考えていない。ただ、他に何かあれば、追加の事業はできると思う。
委員	なぜそのような修景をしているのかがわかるようなサインがあれば良いのだが、街道はずっと続いている。どのように周知させるか。
事務局	この事業に関連して、1期計画でどんかん道・日田街道・歴史の散歩道サイン事業でサイン整備を行ってきた。説明板を街道途中の東蓮寺公園に設置し、通古賀近辺の地図とともに説明を行っている。また、通古賀集落の入口に日田街道と記した石碑を建てて周知している。また、歴史的風致形成建造物の保存修理事業で、街道に面して唯一残っていた蔵を保存修理した。このように様々な事業で、街道の景観をできるだけ保全しようとしている。今後は道路付帯物を修景しながら、必要に応じてサイン整備もやっていければと考えている。
事務局	文化財課所管分と産業振興課所管分などの説明
委員	いくつかの事業が国庫補助削減により、事業の実施の見送りや今後検討と報告されたが、12とか14の事業について、例えば福岡県が今力を入れているワンヘルス事業などの事業を活用しながら、四王寺山周辺部分の環境整備を進めるとか、財源確保策を検討されたことはあるか。
事務局	まず14番の産業振興課所管分の環境保全事業だが、ワンヘルス事業について、検討はしているが具体的な実施にまでは至っていない。県の荒廃森林整備事業に付随して市民の森の整備をやってる。ワンヘルス事業については今後の検討とする。
事務局	12番の四王寺山の周辺環境整備事業は、歴史的風致に関わる補助予算の中でやっていく。
委員	国庫補助の削減という文字が並ぶと、事業が進まない感じがする。
事務局	ここ数年は国庫補助が半分ぐらいしかついてなくて、各事業に均等に振り分けていたが、今回は予算額が大きい天満宮参道事業にほとんど充てたため、かなり特別な状態である。

委員	元々補助金はどれくらいあるのか。
事務局	今年度の国庫補助は約 4600 万円で、それには年度間調整分も加わっている。今回その補助で動いているのは、天満宮参道と高田家のみである。歴まち計画を所管している国交省の方も、この歴まち計画をやっている自治体に特化した補助事業を検討している。そうなれば満額補助金が来る可能性はある。
委員	吉嗣家の報告書はいつ刊行されるのか。
事務局	令和 9 年度と考えている。
事務局	絵師には齋藤家、吉嗣家、萱島家の三家があり、絵師調査として齋藤家からスタートして、齋藤家の報告書が刊行され、その後吉嗣家で 2 冊刊行している。吉嗣家の資料数が多く、調査が進まない状況で、やっと 3 冊目が進んでいる状況。
委員	その補助金は印刷製本費に使われているのか、人件費にも使っているのか。
事務局	委託であるが、主に人件費である。
委員	萱島家は調査できるのか。
事務局	吉嗣家の調査がまだ続くので、萱島家の調査はかなり厳しい。
委員	印刷費などはクラウドファンディングなどでお金を集めるのはどうか。吉嗣家の再評価に時間をかけてやっても良いのではないか。九州国立博物館開館 20 周年だが、100 年前に吉嗣さんが頑張られた。そういう記録もあると思うので、クラウドファンディングなどで市民への周知に繋がったらどうか。
事務局	クラウドファンディングについては、対応が積極的にできてない。吉嗣家に関しては、数年前に展示も行い、認知度は高まっている。報告書も基礎資料として研究者にもかなり評価されている。現在文化ふれあい館で絵師の展示もやっているが、今後はもっと市民に対して認知度を高めていきたい。
委員	県で大野城跡環境整備事業を行っており、今年度も後半に施工を進める予定であるが、それと同時並行で大野城跡全体の保存活用計画を今年度から 3 ヶ年かけて行う。大野城跡は、2 市 1 町に広くまたがっていますので、それぞれ連携しながら進めていく。
委員	ダークブラウンラン神話というか、あまりステレオタイプにならないように検証して施工しないといけない。全てダークブラウンになっていくと全部落ち着いた色になって良いかもしれないが、全部がそういうふうになってくると埋没してしまう。あんま

	<p>り固定観念で、ダークブラウンが良いという風に思わなくて良いのではないか。</p> <p>それと参道の舗装に関して、今の瓦や石を剥いだ上で舗装するのか。それともオーバーレイするのか。歴史的町並みでは、道路がどんどんオーバーレイで上がっていきます。宅地の方は上がらないので、どんどん雨水が宅地の中に入って行く。道路は綺麗になるが、接道している宅地の人たちには、逆に全部マイナスになる。丁寧な景観の更新をしていかないと、案外違うところに影響がでる。</p>
事務局	<p>参道は、基本的に高さと雰囲気は現状を踏襲する形で行うので、かさ上げすることはない。雨水管のレベルも変わらない。</p> <p>日田街道に関することだが、市全体として道路関係を景観的な計画は全くなく、都市計画課の歴まち事業や文化財に絡む範囲で、景観に配慮したものにしていくことになっていますので、史跡地や天満宮参道以外ではあまりない。あと県道に関しては景観重要道路に指定している路線は、景観に配慮するようお願いしているので、防護柵がダークブラウンになることはあるが、それ以外の普通の道路とは違いが出るのではないかと考えている。</p>
委員	<p>うきは市の橋の架け替えで、橋の色を決める検討会をしたことがある。その周辺は桜の名前がついていて、かつて桜の名所だったのでそこを復活させたいという市民の意見で薄いピンク色になった。色に関しては、歴史や地名の問題とかいろいろな問題も含め検討するが良いのではないか。特にあそこはガード下で暗いので、もう少し工夫の余地はあるのではないか。</p>
事務局	<p>日田街道にはガードレールと歩道があるが、歩道の下は暗渠になっており、強度上大きな施工は行わない。つまり、見た目では色が変わるくらい。色については改めて検討する。</p>
委員	<p>西鉄の桜並木駅の柱が薄いピンクで結構おかしくはない。固定観念を捨てた方が良いのではないか。</p>
委員	<p>今ここはちょっと暗いが、照明はできないのか。</p>
事務局	<p>若干影になる程度なので、照明はつけない。</p>
委員	<p>ガードレールだけではなくてミラーも変えるのか、色の選択肢はオレンジ色やブラウンの二択なのか。</p>
事務局	<p>カーブミラーの基本はオレンジ色で、オレンジ色以外は全部特注。ダークブラウンを発注しても納品まで時間がかかる。オレンジ色は柱に当たらないために目立つようにしているが、ダークブラウンは視界の障害物にならないようにする景観色である。</p>

委員	<p>検討せずにオレンジとかダークブラウンとかを安易に選ぶのはどうかと思う。現況は、道路が高架で上がっていて、日田街道が逆に平面としてちゃんと保存されている。高架道路がいいかどうかは別にして、歴史の説明ばかりではなくて、高架になったためにここが通過交通なく安全に歩けたりしていることに、うまくクローズアップした説明や認識できる工夫があっても良い気がする。この高架下だけガードレールの色を変えるのではなく、この写真で言うと向こうの方の高架を出た後のガードレールもあるので、そこまで同色で、それが軸線だというのがわかるようにするのが良いと思う。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
事務局	<p>次回の協議日程につきましては3月末頃を予定している。</p> <p>(閉会挨拶)</p>